

# LED ヘッドライトキット 6000 取扱説明書

製品番号
05-08-0417

適応車種および適応製品
純正ヘッドライトバルブがH4・HS1 タイプ 12V DC (直流) 灯火車両で、LED ヘッドライトバルブとヘッドライトコントローラーが取り付け可能なスペースを備える車両。(一部弊社確認済みの 12V AC (交流) 灯火車両でも点灯可能です。)

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ■特徴

- H4 及び HS1 ヘッドライトバルブ車へ装着可能な、後付け LED ヘッドライトキットです。
- 弊社製の各種メーターやFI コン類、ヘッドライトコントローラーとの同時装着が可能です。
- 弊社製 LED ヘッドライトキットは、4 輪自動車用を安易に転用した様な商品ではなく、弊社で内部回路調整とテストを行い、2 輪車用に最適化した弊社専用仕様の LED ヘッドライトです。
- 色温度を 6000K に設定することで、よりスタイリッシュな発光色となりました。
- また LED チップを効果的に冷却する為、ヒートシンク部には小型の電動ファンを内蔵しております。
- H4 及び HS1 ハロゲンバルブのフィラメント位置に近くなるように工夫された LED 配置により、ハロゲンバルブ同様に Lo/Hi 照射範囲切り替えを可能としております。
- 消費電力 約 18W と省電力ながら、一般的なハロゲンバルブよりも高輝度を誇ります。
- ハロゲンバルブより長寿命を誇る LED チップにより、安心の 1 年間保証を実現しました。
- 正常な使用状況下において点灯しなくなった場合は、製品の修理または交換をさせていただきます。
- 保証の条件など詳細につきましては、本取り扱い説明書末尾の保証条件をご確認下さい。

## ●ご使用前に必ずお読み下さい

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工や分解された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、H4 及び HS1 ハロゲンバルブの置き換え用として開発された汎用キットですが、純正ヘッドライトバルブが H4 及び HS1 であっても、取り付けの為にヘッドライトへの加工が必要になる場合もあります。
- また、ハロゲンバルブとの寸法差異や、灯火用電力の特性などにより、お使い頂けない場合もあります。
- ◎当製品は基本的に 12V DC (直流) 灯火車両用です。12V AC (交流) 灯火車両に関しては、点灯可能な弊社確認済み車両がありますが、AC 電力波形によっては点灯しなかったり、光がちらつくといった場合がありますので、全ての 12V AC (交流) 灯火車両で点灯可能ではありません。
- ◎光量や色温度については、車検に対応できるレベルの性能を備えておりますが、LED ヘッドライトバルブの構造上、ハロゲンバルブと完全に同じ照射光にはなりません。
- その為、取り付けるヘッドライトとの組み合わせにより車検対応となるか判断出来ませんので、車検対応可否についてお問合せ頂いても、弊社ではお答え出来かねます。
- ◎本キットの LED ヘッドライトバルブ及びヘッドライトコントローラーは、防滴構造となっております。走行時や洗車時に多少本体が水濡れする程度であれば問題ありません。但し、LED ヘッドライトバルブが頻りに水濡れするような箇所に設置する車両の場合は、バルブ後部冷却ファンのスクリーン(金網)が汚れたり目詰まりしていないかという事を、特に注意して下さい。
- スクリーンが汚れたり目詰まりし、ヒートシンク部への通風が妨げられた状態で使用すると破損します。また、そのような原因で破損した場合は保証対象外となりますので、定期的に点検を行って下さい。
- ◎LED チップ表面に変色やクラックなどの異常が見られましたら、すぐに使用を中止して下さい。
- ◎補修部品につきましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

**!** 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン・マフラー及びヘッドライトバルブが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- LED ヘッドライトバルブ及びヘッドライトコントローラーは、通電時高温になりますのでご注意ください。(火傷の原因となります。)
- LED ヘッドライトバルブは出来る限り通風の良い状態となるように留意して取り付けを行い、冷却ファンのスクリーンが目詰まりしたりしていないか、また冷却ファンが正常に作動しているか、定期的に点検を行ってください。(LED の過熱は早期故障の原因となります。)
- LED ヘッドライトバルブを点灯させると、LED チップより非常に強い光が発せられますので、直視しないようにして下さい。(視力障害の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

**!** 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎当製品へのクレームについては、製品お買い上げ後 1 年以内を限度とし、保証条件に準じて修理又は交換させていただきます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川  
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	LED ヘッドライトバルブ	1	34901-LH4-T10
2	LED ヘッドライトコントローラー	1	38571-LH4-T10
3	スポンジ両面テープ (63 × 44 t1.0)	1	35011-LH4-T00
4	結束バンド 150mm (ブラック)	2	00-00-0135 (10ヶ入り)
5	結束バンド 290mm (ブラック)	2	00-00-0295 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい  
ます様お願い致します。

取付け要領

●本キットは汎用品です。下記取り付け要領はあくまで参考とし、お使いになる車両に合わせて適宜作業を行って下さい。

- ① 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
- ② 車両の取り扱い説明書や純正サービスマニュアルを参照し、純正ヘッドライトバルブコネクタ及びヘッドライトバルブを取り外します。
- ③ LED ヘッドライトバルブのソケット金具部分を、反時計方向に少し回して引き抜きます。



- ④ 車両のヘッドライトにソケット金具部分のみを取り付けます。

▲注意  
取付けるヘッドライトによっては、ソケット金具のスクルー2本がヘッドライトに干渉する場合もあります。ヘッドライトへの追加加工が必要になる場合があります。



- ⑤ ヘッドライトのバルブ部分にラバーカバーが有る場合は、この段階でソケット部分にラバーを取り付けます。  
LEDヘッドライトバルブのソケット金具と、純正ハロゲンバルブでは多少形状が異なりますので、車両によっては、ラバーを一部切除する必要があります。



- ⑥ LED ヘッドライトバルブを、ソケット金具部分に挿入し、時計方向に少し回して固定します。

▲注意  
LEDヘッドライトバルブのリフレクター部のメッキは非常にデリケートです。ソケット挿入時に擦れたりするとメッキが剥がれますので、リフレクター部が他部品に触れないように注意して作業を行って下さい。また、LEDヘッドライトバルブを挿入した後、バルブ本体がソケット金具にしっかりと固定され、ガタ等無い事を確認して下さい。



- ⑦ LED ヘッドライトバルブのヒートシンクのスリット部分が、ヘッドライトハウジングやラバーで塞がれていないか確認します。

▲注意  
ヒートシンクのスリット部分が塞がれていると、放熱することができずLEDバルブが破損します。このような原因により破損した場合は、LEDバルブ損傷状況から過熱による破損と判断できますので、ご購入日より1年以内であっても保証対象外となります。



- ⑧ LED ヘッドライトバルブとLEDヘッドライトコントローラーの丸型コネクタを接続し、ナットを回して固定します。



- ⑨ LEDヘッドライトコントローラーの青色3Pコネクタを、車両側ヘッドライトバルブコネクタに接続します。

▲注意  
車両側コネクタ形状によっては、青色3Pコネクタが完全に奥までは挿さらず、端子根元部分が露出する車両があります。必要に応じて、絶縁テープを巻くなどの対策を講じて下さい。



- ⑩ LEDヘッドライトコントローラーの設置場所を検討し、キット付属のスポンジ両面テープや結束バンドを利用して固定します。

▲注意  
LEDヘッドライトコントローラーは通電中高温になります。出来る限り通風が良く、身体に触れる可能性の低い場所に設置して下さい。

- ⑪ 取り付けが終わりましたら、  
・点灯時にLEDヘッドライトバルブ後部の冷却ファンが作動しているか。  
・Lo/Hi ビームが正常に切り替え出来るか。  
といったチェックを行い、光軸の確認及び必要に応じて調整を行って下さい。

●バルブ後部冷却ファンのスクリーン(金網)点検・清掃について

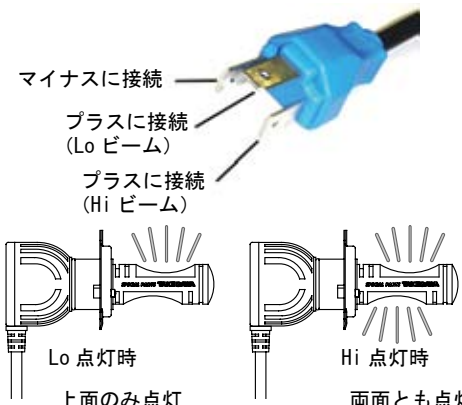
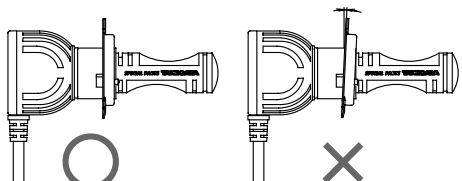
- ・冷却風導入部のスクリーンが汚れ等で目詰まりすると、LEDチップ過熱の原因となり、LEDチップ寿命に悪影響を与える可能性があります。取り付け車両や使用状況により一概に点検時期を指定する事は出来ませんが、適宜スクリーンが目詰まりしていないか、また冷却ファンが作動しているかどうか点検を行って下さい。
- ・スクリーンの清掃については、ブラシ等でホコリや汚れを取り除いて下さい。

▲注意  
高圧の圧縮空気を、エアブローガン等で冷却ファン部に吹き込む事はしないで下さい。  
冷却ファン破損の原因となります。

- ・万一、スクリーン外側から汚れを除去できないほど汚れたり、ファン部に異物が入ってしまった場合は、LEDヘッドライトバルブ後部の十スクルー3本を取り外し、スクリーンを外して清掃して下さい。



但し、LEDヘッドライトバルブから冷却ファンを取り外すと、配線コード噛み込みの原因にもなりますので、やむを得ない場合以外は取り外さないことをお勧めします。  
なお、スクリーンが変形すると冷却ファンに干渉し、ファン不動及び故障の原因となりますので、分解後は必ず冷却ファンが作動しているかをご確認下さい。

<p>点灯しない</p>	<p>弊社では出荷前に全数通電して検品を行っておりますが、簡易的な点灯チェックの方法として、下図を参照し青色 3P コネクタにバッテリーなどで 12V 電源を接続し、点灯確認を行ってください。 ！注意：点灯させる際は絶対にLEDを直視しないようにして下さい。</p> 
<p>Lo 点灯時 上側のLEDしか点灯しない</p>	<p>正常です。H4・HS1タイプのハロゲンバルブ照射光と同様です。</p>
<p>点灯するが冷却ファンが回らない</p>	<p>冷却ファン部分に異物が入り込んでいないか確認して下さい。 冷却ファンが回らないまま使用すると、過熱して早期故障の原因となりますので、使用せずに弊社までご連絡下さい。</p>
<p>光軸が調整出来なくらい極端にずれる</p>	<p>LED ヘッドライトバルブ取り付け時に無理な力を加えると、ソケット金具部分のプレートが曲がってしまい、ヘッドライトに対してLED ヘッドライトバルブが傾く可能性があります。下図を参照し、ソケット金具部分を確認して下さい。</p>  <p>組み合わせるヘッドライトによっては、ソケット金具部分のスクリユが干渉し、本来のバルブ位置に取り付け出来ない場合や、リフレクターやレンズ構造とLEDヘッドライトバルブの相性問題から、光軸が調整しにくい車両が存在する可能性もあります。</p>

■保証条件

当製品の保証書は、商品外箱に貼り付けしております。  
ご購入時、販売店に必要事項を記入して頂いた物を、領収書又はレシートと共に保管をお願いします。

●保証内容

当製品は厳密な品質管理、全数点灯検査の上でお届けしておりますが、ご購入後正常な使用状態に於いて、万一保証期間内にLEDが正常に点灯しないといった問題が発生した場合、弊社で点検及び検査の後、下記の条件に準じて修理または交換させていただきます。

●保証の対象

製造上あるいは材料上の不具合により、LEDが正常点灯しない事が弊社で確認出来た部品、必要事項が記入された保証書、商品購入時の領収書又はレシート、**以上の3点がそろっている場合に限り**ます。

●保証期間

保証期間は**ご購入日より1年間**となります。使用開始時期にはなりません。

●適用除外

保証期間内であっても下記の場合、保証は適用されません。

- ①保証書及び商品ご購入時の領収書又はレシートが無い場合。
- ②保証書に必要事項が記載されていない場合。
- ③天災、地震、火災、海難、動乱などによる破損ならびに故障。
- ④使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められる物、たとえば
  - A. 12V 直流灯火ではない車両に装着された場合。  
(但し本キットの様に、交流灯火車であっても弊社指定の取り付け方法が遵守されている場合は、この限りではありません。)
  - B. 本製品以外の電装品などの故障(バッテリー不良含む)や欠損により破損した物。
  - C. 12V 車のヘッドライト用途以外へ使用した場合。
  - D. 交通事故による破損、故障、機能低下の場合。
  - E. 使用者が本商品を分解、改造した場合。
  - F. サーキット走行やオフロード走行など、一般公道以外で使用された場合。
  - G. 部品の落下や打撃など、外的衝撃により破損した物。
- ⑤ LED 発光色温度の個体差、塗装やリフレクターの変色、使用に伴う感覚的な光量低下など、LED 不点灯以外に関する不具合の場合。
- ⑥弊社で不具合が確認出来ない場合。
- ⑦所有者が変更となった場合。

車両別 適応確認状況

※各車種名の後の ○ △ × は、取付・点灯についての適応状況を目安を示します。

○・・・取り付けに際して、部品や車体への加工等を必要としない。点灯に関して特に問題がない。

△・・・取り付けに際して、加工や注意が必要となる車両。

点灯するが、ライトユニットとの相性からハロゲンバルブ時とは光軸が大きく変化してしまう車両や、エンジン回転をかなり上げないとちらつきが治まらないなど、商品本来の性能を発揮しにくい車両。

×・・・取り付けの為に、ヘッドライトユニットの交換や、部品や車体へ大幅な加工が必要となる車両。

点灯するが、ちらつきがひどい車両や、電気的な問題により使用出来ない車両。

ホンダ			
車種名	取付	点灯	備考
CBR250R (MC41-1000001 ~ 1399999)	○	○	2灯ライトの2014年モデル以降はバルブ型式が異なり使用不可
CRF250L (MD38・MD44)	×	○	LEDヘッドライトバルブ周囲のスペースやコントローラー設置場所が無い
VTR250 (MC33)	△	○	LEDヘッドライトバルブ後部にスペースが無く、通風対策必要
XR250 Motard (MD30)	○	○	フレームNo. MD30-1700001 ~ MD30-1899999の車両にて確認 それ以外の車両は関連部品番号が異なる為、未確認
CBR125R (JC50)	○	○	
GROM (JC61-1000001 ~ 1299999)	△	△	ソケット金具のタッピングスクリューがヘッドライトに干渉するので、切削加工推奨
MSX125 (タイ仕様)	△	△	Hiビーム側の光が少しちらつく
リード125 (JF45)	×	×	弊社製ヘッドライトコントローラー併用可能
Dio110 (JF31・JF58)	×	×	
クロスカブ (JA10)	×	△	純正ヘッドライトケース内にLEDヘッドライトバルブが収まらない 低回転時Hiビームにすると光がちらつく
カブ110 (JA10)	×	×	Hiビーム側の光がちらつく
カブ50 (AA04)	×	×	
Monkey (12V キャブ車)	×	×	※ノーマルローターの場合、低回転で光がちらつきますが、車両年式による使用部品の個体差等により、4000rpmくらいまで回転を上げなければちらつきがおさまらない車両と、2000rpm程度から安定して点灯する車両が存在します ※弊社製スーパーストリートアウターローター装着車の場合、4000 ~ 5000rpmくらいまで回転を上げなければ光がちらつくので、使用は非推奨
Ape・Ape100 Ape100 TypeD (キャブ車)	×	×	4000 ~ 5000rpmくらいまで回転を上げなければ光がちらつくので、使用は非推奨
DUNK (AF74)	△	○	ラバーブーツ切除加工必要
TACT (AF58)	△	○	ラバーブーツ切除加工必要
ジョルノ (AF77)	○	○	

ヤマハ			
車種名	取付	点灯	備考
WR250X (DG15J)	△	○	LEDヘッドライトバルブ後部とフレーム間のクリアランスが非常に小さい 個体差やヘッドライト角度によってはフレームと干渉する恐れがある
マジスティS (SG28J)	△	○	取り付けにはラバーブーツ切除加工が必要  内径部 約6mm 切除
トリシティ (SE82J)	△	○	取り付けにはラバーブーツ切除加工が必要  内径部 約6mm 切除
シグナスX (SE44J) [1YP3・1YP5]	△	○	取り付けには上記マジスティS (SG28J)と同様のラバーブーツ切除加工が必要 別売の弊社製H1ステーを分解して利用すると、ヘッドライトコントローラーの設置が容易 品番：090-00-0051
シグナスX (SE44J) [1YP1・1YP2] [28S1 ~ 28S9]	△	○	ラバーブーツにヒートシンクが埋もれる様な感じになる為、ラバーブーツ加工するなど放熱に配慮が必要 別売の弊社製H1ステーを分解して利用すると、ヘッドライトコントローラーの設置が容易 品番：090-00-0051
シグナスX (SE12J)	△	△	ヘッドライト内のシェードを取り外した方が明るくなる
BW's125 (5S9)	△	○	LEDヘッドライトバルブのソケット金具樹脂部分を削る必要がある

スズキ			
車種名	取付	点灯	備考
GSR250	×	○	カウルステー切除加工する等しなければ取り付け出来ない
アドレス110 (GE47A)	○	○	

カワサキ			
車種名	取付	点灯	備考
D-TRACKER125 KLX125	×	○	ラバーブーツの構造上取り付け出来ない
KSR PRO	×	×	ラバーブーツの構造上取り付け出来ない コントローラー設置に適した場所が無い Hiビーム側の光がちらつく
Z125 PRO	○	○	

※上記適応確認状況表は弊社調べです。(2017年9月現在)

表に記載の無い車両は、弊社で取り付け確認出来ない車両、もしくは調査中などで適応可否をお答え出来ない車両となります。